



投資環境

2025年7月7日

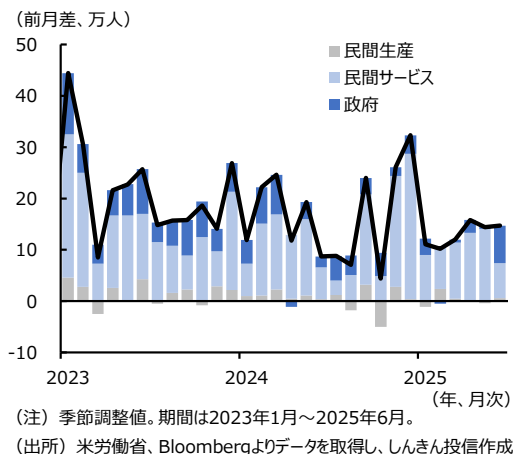
米雇用統計(2025年6月): ヘッドラインは堅調ながらも、労働市場の減速を示す内容

■ 非農業部門雇用者数は前月差 14.7 万人増

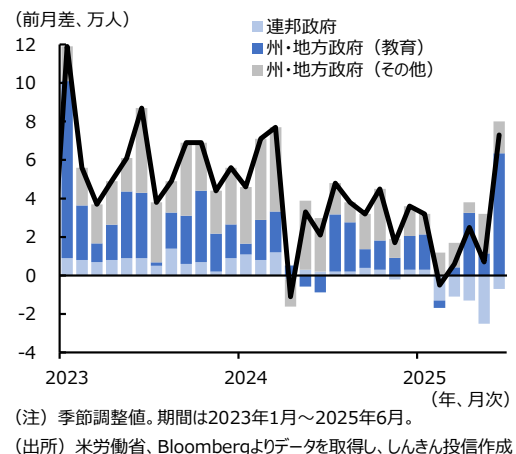
7月3日に公表された6月の米国の雇用統計では、非農業部門雇用者数は前月差 14.7 万人の増加と、前月(同 14.4 万人増)からやや加速し、市場予想(Bloombergによると同 10.6 万人増)を上回る結果でした(図表 1)。内訳をみると、雇用の伸びを牽引したのは、政府部門でした。なかでも、州・地方政府の教育関連の雇用者数が大幅に増加しており、季節的な要因から一時的に上振れた可能性があります(図表 2)。

一方、民間部門では雇用の減速が鮮明となりました。民間部門の雇用者数は同 7.4 万人の増加と、前月(同 13.7 万人増)から伸びが縮小し、市場予想(Bloombergによると同 10.0 万人増)を下回りました。生産部門は同 0.6 万人と増加に転じた一方、サービス部門では同 6.8 万人増加と前月(同 14.1 万人増)から大きく伸びが縮小しました。

図表1. 非農業部門雇用者数



図表2. 政府部門雇用者数



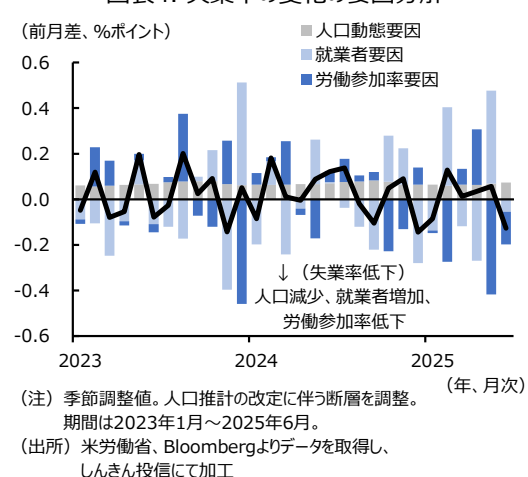
■ 市場予想に反し、失業率は前月から低下

失業率は 4.1%と前月(4.2%)から低下しました(図表 3)。上昇を見込んでいた市場予想(Bloombergによると 4.3%)に反する動きとなりました。失業率の動きを要因分解すると、労働参加率の低下が大きく押し下げに寄与しています(図表 4)。これには、高齢化などの人口動態やトランプ政権の移民政策による影響、職探しを諦めた人の増加が反映されている可能性があります。

図表3. 失業率



図表4. 失業率の変化の要因分解



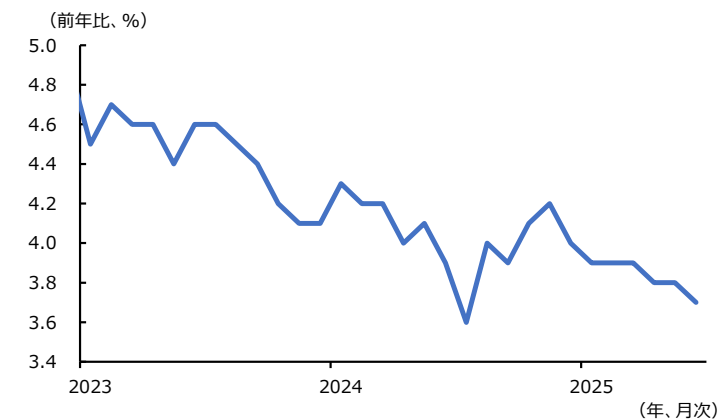


しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

■ 賃金の伸びは減速

平均時給は前月比 0.2%増、前年比 3.7%増となり、市場予想（Bloomberg によると同+0.3%増、同 3.8%増）をやや下回る結果となりました（図表 5）。所得の伸びは依然として高いものの、減速傾向が鮮明となっています。

図表5. 時間あたり賃金



(注) 期間は2023年1月～2025年6月。

(出所) 米労働省、Bloombergよりデータを取得し、しんきん投信作成

■ 今後も減速傾向が強まる公算

今回の雇用統計では、ヘッドラインは堅調でしたが、民間部門の雇用者数は減速するなど、やや力強さを欠く動きとなっています。速報性が高い Indeed（求人検索サービス）の求人件数は 6 月末にかけて減少傾向が続いており、企業が新規採用を抑制する姿勢は維持されています（図表 6）。そのため、今後も雇用の減速傾向が続く可能性が高いとみられます。米政権の関税政策次第では、企業がレイオフなどの人員削減（一時的な解雇）を加速させる恐れもあり、引き続き下振れリスクには注意を要します。

図表6. 米国の求人件数（Indeed）



(注) 季節調整値。期間は2024年1月1日～2025年6月27日。

(出所) Indeed Hiring Labよりデータを取得し、しんきん投信作成

(エコノミスト 北辻宗幹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。